

楓通信

6-8月号



【コハクラン】 *Kitigorochis itoana*

2012年7月中旬に栃木県内にて初確認。
以前は山梨県と長野県でしか確認がなかった。
環境省のレッドリストにおいても最も絶滅の
恐れが高い「絶滅危惧IA」に分類される。

こんな貴重な種が生息している奥日光の
豊かな自然を、これからも守り続けたい。

奥日光!!

こちらのコーナーでは、
今号117号の楓通信発行前（ビフォー）と
発行後（アフター）の奥日光の自然情報
をご紹介します。（みつ）

自然情報ビフォー

とって暖かかった3～5月の奥日光

□ヤシオツツジとサクラが同時に見頃!?

今年の奥日光は例年になく暖かかったようです。ビジターセンター恒例のゴールデンウィーク早朝散策では、例年、つぼみの状態を観察することが多いアカヤシオがなんと見頃の状態に(!)。ツツジより遅れて咲くはずのタカネザクラ（ミネザクラ）の花も同時に観察することができました。お客様は「こんな光景は初めて見ました!」と喜んでいましたがなんだかフクザツな心境です。

□水鳥たちは北の大地へ

毎年、5月中旬まで湯ノ湖へ滞在しているキンクロハジロをはじめとした水鳥たちですが、今年は4月末には早々にいなくなりました。どうやら、中禅寺湖ではまだ一部の個体が残っているようです。



キンクロハジロ



ツツジ (左下) とサクラ (右上) の共演

□今年はながーいウグイの産卵行動

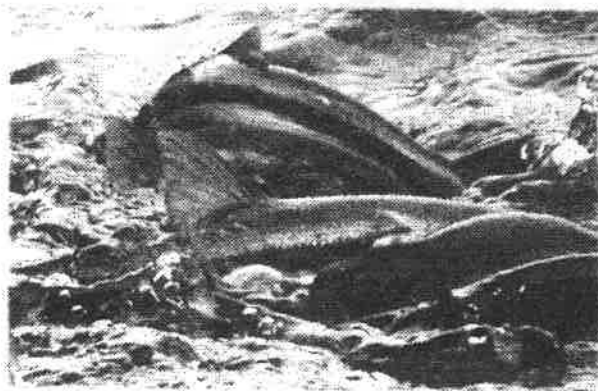
例年はひっそりと行われ、あまり目立たない湯ノ湖でのウグイの産卵行動ですが、5/5の初確認から少なくとも5/21まで、のべ16日間にわたって続きました。半月以上にわたって岸辺でバジャバジャと騒いでいたため、多くの人の目に留まったようです。ビジターセンターのカウンターでもお客様より「あの魚の名前は?」「一体、何をしているの?」などの質問を頂きました。

□いつもよりはやい夏鳥たちの来訪

暖かい季節になると奥日光へは多くの夏鳥たちがやって来ます。今年は暖かいせいか、どの鳥も初認日が例年よりもはやいようです(左表を参照)。ビジターセンタースタッフは初鳴きや姿を逃さぬように日々、耳を澄ませて野鳥センサーを全開にし、自然情報の収集を行っています。

□楓通信の印刷直前まで自然情報ラッシュ!

楓通信の締め切りギリギリ(スレスレアウト?)の5/22に湯元でのエゾハルゼミの初鳴きを確認しました。同時に温泉街では、ズミの花も咲き始めています。楓通信がお手元に届く頃には、戦場ヶ原でズミが見頃となっているかもしれません。



水面を跳ねるウグイたち

表. 夏鳥たちの初認日

種名	2013年	2014年	2015年
イワツバメ	-	4月7日	3月20日
ウグイス	4月24日	4月16日	4月13日
キビタキ	-	5月5日	4月21日
オオルリ	5月7日	-	5月1日
ジュウイチ	-	5月24日	5月11日
カッコウ	5月14日	5月19日	5月17日

アフター

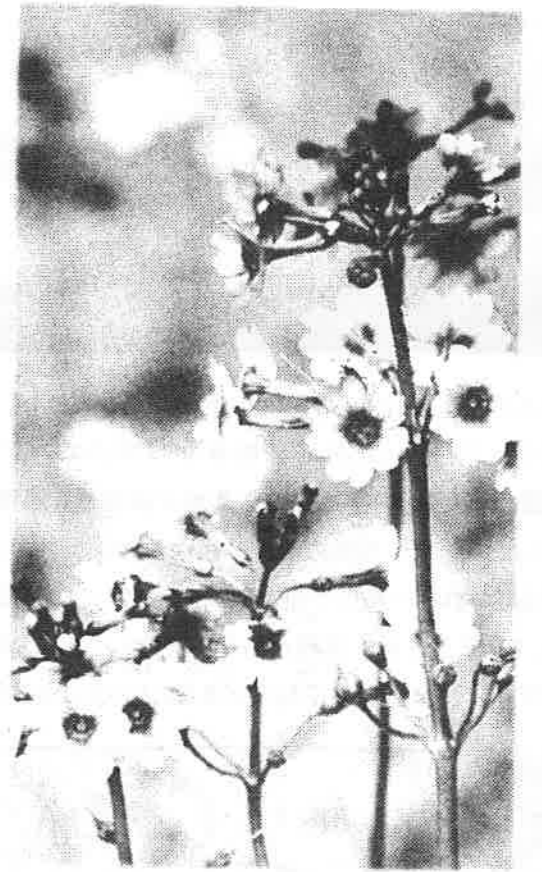
奥日光の6～8月みどころ情報

□予報では今年の梅雨は雨が少ない??

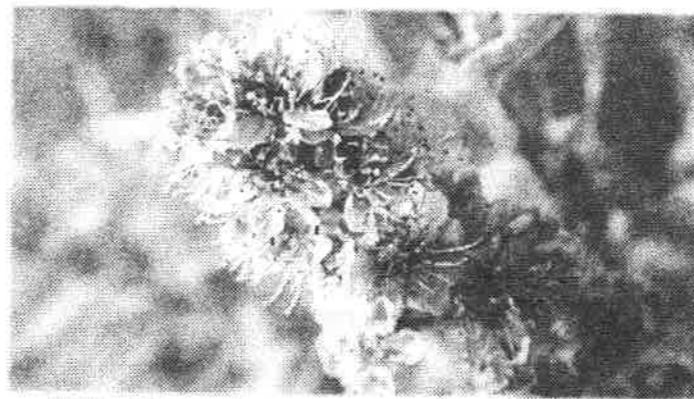
気象庁では、普段の天気予報のほかに1ヶ月や3ヶ月先の中長期で気象予報を行っています。その発表によると、今年の6月は例年に比べて雨が少ないとのこと。さて、奥日光への影響はいかに?

□6月は千手ヶ浜のクリンソウへ急げ!!

5月下旬頃からビジターセンターへの問い合わせが急増する植物といえば…そう、クリンソウです。中禅寺湖の西岸・千手ヶ浜(せんじゅがはま) 一帯の沢沿いに咲き乱れる鮮やかな花々はとても美しく、見る人の目を惹きます。例年では6月の中旬が見頃となりますが、今年の気候を考えると6月上旬には見頃を迎えるかもしれません。ズミの花ほど匂いの短い植物ではありませんが、ピークに訪れたいとお考えの方は計画を少し前倒しにしたほうが良いかもしれません。



千手ヶ浜のクリンソウ



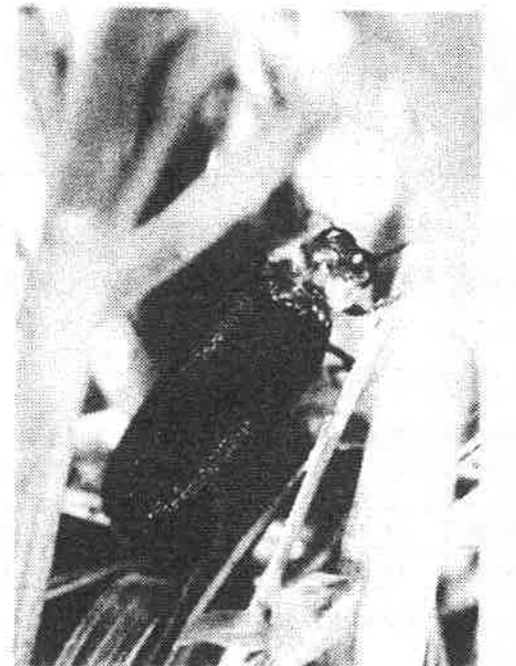
□7月は戦場ヶ原がピンクの花園に♪

例年、7月初旬に花を咲かせるホザキシモツケ。戦場ヶ原でも一定の範囲に群生していて、7月末ごろに見頃を迎えます。満開のピークに遭遇すると一面がピンク色のお花畑のようになり、とても美しい光景が広がります。群生しているのでありがたみを感じづらいますが、本州では、奥日光と霧ヶ峰(長野県)にしかない貴重な植物なのです。

戦場ヶ原のホザキシモツケ

□闇夜に踊る夏の妖精・ヒメボタル

「え!奥日光にもホタルがいるの!?!」とビックリする方もいるかもしれません。平地でのホタルといえば、梅雨の時期に飛び交うイメージがあると思います。ところが、奥日光では梅雨の明けた7月中旬～8月にかけて森の中でホタルを観察することができます。標高が高くて涼しいから?確かに、それもあるかもしれませんが、そもそも奥日光に生息しているホタルは「ヒメボタル」と言います。おそらく、皆さんに馴染みのある「ゲンジボタル」や「ヘイケボタル」などは、幼虫時代を水の中で暮らす『水生ホタル』の仲間です。それに対して、ヒメボタルは幼虫時代も陸上で暮らし巻貝などを食べている『陸生ホタル』という仲間です。ひっそりと森の暗闇の中で光りながら舞い飛ぶヒメボタルの姿はとても幻想的です。しかしながら、夜の森は大変危険です。木の根などにつまづいたり、クマなどの野生動物と不意の遭遇をする可能性もあります。「ぜひ見てみたい!」という方は、ガイド団体主催のナイトウォークなどのイベントへご参加下さい。



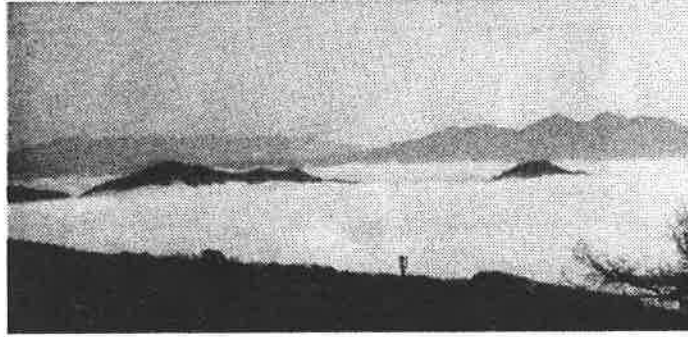
所長-気象予報士が説く 日光の気象

■雲海の話

初夏の頃、霧降高原から雲海を見ることがよく

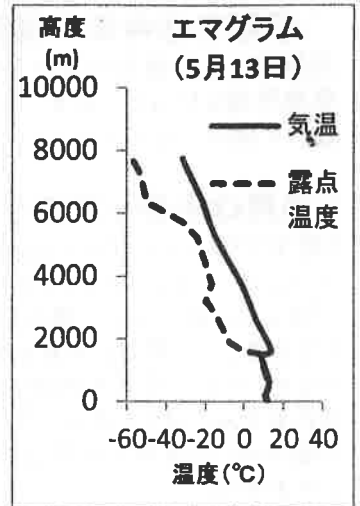
あります。雲の海に近くの山々が島のように浮かぶ様は本当に幻想的です。雲海はどうしてできるのでしょうか。

写真は、昨年の5月13日にキスゲ平で見られた雲海です。右奥に見える山は高原山(1795m)で、手前に島のように浮かぶ山は、右が月山(1287m)、左が夫婦山(1342m)です。山



頂の高さから考えると、この雲海の上面の高さはおよそ1200mです。

右のグラフを見てください。茨城県つくば市のエマグラムです。エマグラム(Emagram)とは、気温と露点温度(空気中の水蒸気が凝結する温度)が高度とともにどのように変化しているかを示したグラフで、大気の状態の断面図のようなものです。通常、気温、露点温度とも高度が上がるにつれて一様に下がっていきませんが、この日は高度約1500m付近に大きな変化点があります。気温を示す実線が右側に突出して、この高度を境に、気温のギャップがあります。この高度に顕著な気温の逆転層があることが分かります。



・雲海の正体

もう一つ特徴があります。気温の逆転層を境に、下では気温と露点温度の線はほぼ重なって

いますが、上では大きく左右に離れています。これは、逆転層を境に、下の空気は湿って雲が発生し、上では乾燥して雲がないことを表しています。これが雲海の正体です。湿った空気の層で発生した雲は、逆転層より上の乾燥した高温の空気の中に上昇できず雲海となったのです。

それではなぜ逆転層ができたのでしょうか。この日の天気図を見ると、移動性高気圧が東海上にあり、高気圧から吹き出す冷たく湿った風が関東平野に侵入し、雲を発生させています。しかし大きく見れば関東地方は高気圧の圏内にあるので、上空は下降気流となります。空気は下降すると気圧が高くなり温度が上がります。この日は、高度1500m

付近が冷たく湿った空気の層と下降気流の境となったのです。つくば市上空の逆転層は1500m、霧降高原の雲海は約1200mと若干違いますが、関東地方一帯に逆転層が広がっていたものと考えられます。

■奥日光の気象情報

2014年の平均気温・湯元

	7月	8月
最高気温	21.2℃	21.0℃
最低気温	15.4℃	16.4℃

※自然公園財団日光支部公園班の記録より

2015年 日の出日の入り(宇都宮)

	7/1	8/1
日の出	4:25	4:46
日の入	19:03	18:47

※国立天文台ホームページより

天文情報

	7月	8月
満月	2日、31日	30日
新月	16日	14日
7/30 みずがめ座δ流星群が極大		
8/13 ペルセウス座流星群が極大		

※国立天文台ホームページより

森のギャラリー

入場無料！ 自然写真展のお知らせ

2人の風景写真家が捉えた栃木の自然、奥日光の自然。四季折々、一期一会の自然と、写真家それぞれの感性・着眼点が織り成す、無限の表現。ぜひ、2回ともご覧ください。

横澤幸一さん

撮影場所 奥日光

展示期間 8月1日～8月16日

荒武宏司さん

撮影場所 鬼怒沼、奥日光

展示期間 8月17日～9月6日

◆森のギャラリーとは
ビジターセンターに隣接する、
飲食可能な休憩所です。
また、どなたさまも無料で展覧
会等にご利用いただけます。
ご予約は当センターまで。
0288-62-2321

新ホームページのことを教えてよ！

2015年4月1日、満を持して日光湯元ビジターセンターのホームページがリニューアルされた。それを聞きつけた奥日光の森の動物達。早速、新ホームページの魅力を聞き出すため、1匹のリスを石井綾新主任の下へ遣わしたとき。



おめでとうございます！ どんな見所があるリスー？

奥日光を楽しむための情報もりだくさんなところでしょうか？
ハイキング前に必要なコース情報やクマ情報、温泉情報など周辺の情報も！
そうそう、英語表記に変えることもできますよ。



うわあー地図のダウンロードもできるリススね！
これならおうちでプリントして出発前から準備できるから安心リスス。



奥日光の森についてはどんなことが書いてあるリスス？

新ホームページでは、奥日光でのシカ増加の影響や
外来種対策などについて、事前学習ができます。



じゃあ、早速読むリススー！

急がなくても大丈夫。来てから読んでも、読んでから来ても楽しめます。
現地に住むスタッフが更新する、自然情報もおススメですよ！



わあ！ 今までは毎週木曜更新だったけど、これからは随時更新リスス。
これは頻繁にチェックしなきゃリススー！

思いがけない発見があるかもね。
更新した情報が奥日光に訪れるきっかけになればと思います。



カレンダーで、どんな花や鳥がいつ頃見られるか調べられるリスス！

花や鳥はもちろん、水生昆虫や爬虫類など奥日光の自然は不思議な事だらけ。
色んなものを見て、奥日光にどっぷり浸かってください。



ありがとう！でも、リスス、パソコン持ってないや。リスだから。

そう言い残してリスは去っていった。木々の合間に消えていくその後ろ姿を見ながら、石井綾新主任は、奥日光の自然を守り、情報を発信し続けていくことを固く誓ったのだった。彼らがいつかパソコンを手に入れる、その日まで…。

◆夜のカエル観察会

4月25日(土) 19:30~20:30 参加者 11名

全国でも有名な大自然を擁する奥日光の中で、今回の舞台は湯元にある名も無い小さな池。雪解けと同時に集まって繁殖する、ヤマアカガエルたちを観察しました。

まずは、夜の池でライトを使って観察。カエルが見つかるとその場で大撮影会になり、フラッシュでカエルが見えなくなるほどでした。その後は、屋内でカエルのお話。いかにカエルが生態系の中で重要かということや、奥日光との関連などをご紹介しました。そして最後に、ふれあいタイム。手触りはもちろん、金色の眼や小さな鼻の穴まで、じっくり観察しました。イベント終了後も、みなさん21時頃まで残られたほどの、カエルたちの人気ぶり。

終始カエル愛につつまれた、とても素敵な時間を過ごすことができました。いて当たり前の生き物が当たり前にいることの大切さ、その身近さや魅力を感じていただけたと思います。(まる)

◆早朝散策

5月3日(日)、4日(月)、5日(火) 6:30~7:30 参加者 延べ 60名

駐車場は車いっぱい、通りには人いっぱい！ 冬場は静かだった湯元温泉も、観光客の方々ととても賑やかになったゴールデンウィーク、ビジターセンターも散策イベントで皆様をお迎えしました。

6時30分という早い時間に、3日間で大勢のお客様にご参加いただき、湯元温泉街の春をご案内いたしました。お花は、見頃のアカヤシオ、オオヤマザクラ。桃色の花が、皆様を歓迎するかのように盛んに咲いていました。鳥では、巣作りに励む働き者のイワツバメが空を乱舞。サービス精神旺盛なウグイスが笹藪の中から出てきて、なんと姿を見せてくれました。両生類では、アズマヒキガエルの卵塊に、ヤマアカガエルのオタマジャクシ。未だ冷たい水の中でも、たくましく生きる命があることを教えてくれました。

スタッフと奥日光の大自然、全員でおもてなしをいたしました。湯元を訪れる皆様、とても幸せそうで、今春一番、「春だなあ」とワクワクした風景でした。(サンシロー)

スタッフコラム

森のきのこにご用心 ～シャグマアミガサタケ～

奥日光では雪どけが進み、ぐんぐんと気温が上昇してきました。暖くなると活動をはじめるのは…そう「きのこ」です。奥日光の自然はよく「箱庭」にたとえられます。「箱庭」とは、森・草原・湿原・荒地・山岳・湖沼など様々な景観が比較的狭い範囲に集中している様を言うようです。このように様々な環境が揃っている奥日光では、その分、多くの種類のきのここと出会える可能性があります。

しかし、出会ったきのこの中には、致死性の毒を持つ危険なきのこも混ざっているかもしれません。今回のコラムでは、日光パークボランティア (NPV) の方々より情報を頂き、わたくし「みつ」が先日出会った猛毒きのこ「シャグマアミガサタケ」(右スケッチのきのこ)をご紹介します。

見た目からして、いかにもグロテスクなきのこですが、実際、調理法を知らずに食べると致死性の毒を含んでいます。しかしながら、このきのこの学名 *Gyromitra esculenta* はラテン語で「食べられる(esculentus) *Gyromitra* 属のきのこ」の意であり、北欧の市場では毒性と調理方法を明示した上で販売されているようです。なんと言いますか、調理法を確立した勇気ある先人には尊敬の念を禁じえません。

このきのこの凶悪なところは、毒抜きのために茹でておぼすと毒成分が揮発して湯気に混ざること、誤って湯気を吸ってしまった場合も最悪死に至るようです(恐るべし！)。このように、「食品」としてはとても凶悪なきのこですが、別の側面では『レッドデータブックとちぎ』にて「要注目」として登録されている貴重な種でもあります。文献上では、奥日光での報告がないため、今回 NPV の方々が発見された意義は大きいかもしれません。

冒頭に述べたように、奥日光はきのこ好きにとってはめっぽう恵まれた環境にあります。じっくりとフィールドを調査することで、今後未記載種のきのこが発見される可能性も大きいと思います。「きのこ好き」を自称する身としては、これから本格的に始まるきのこシーズンも、全力で奥日光中を駆け巡りたいと思います。(みつ)



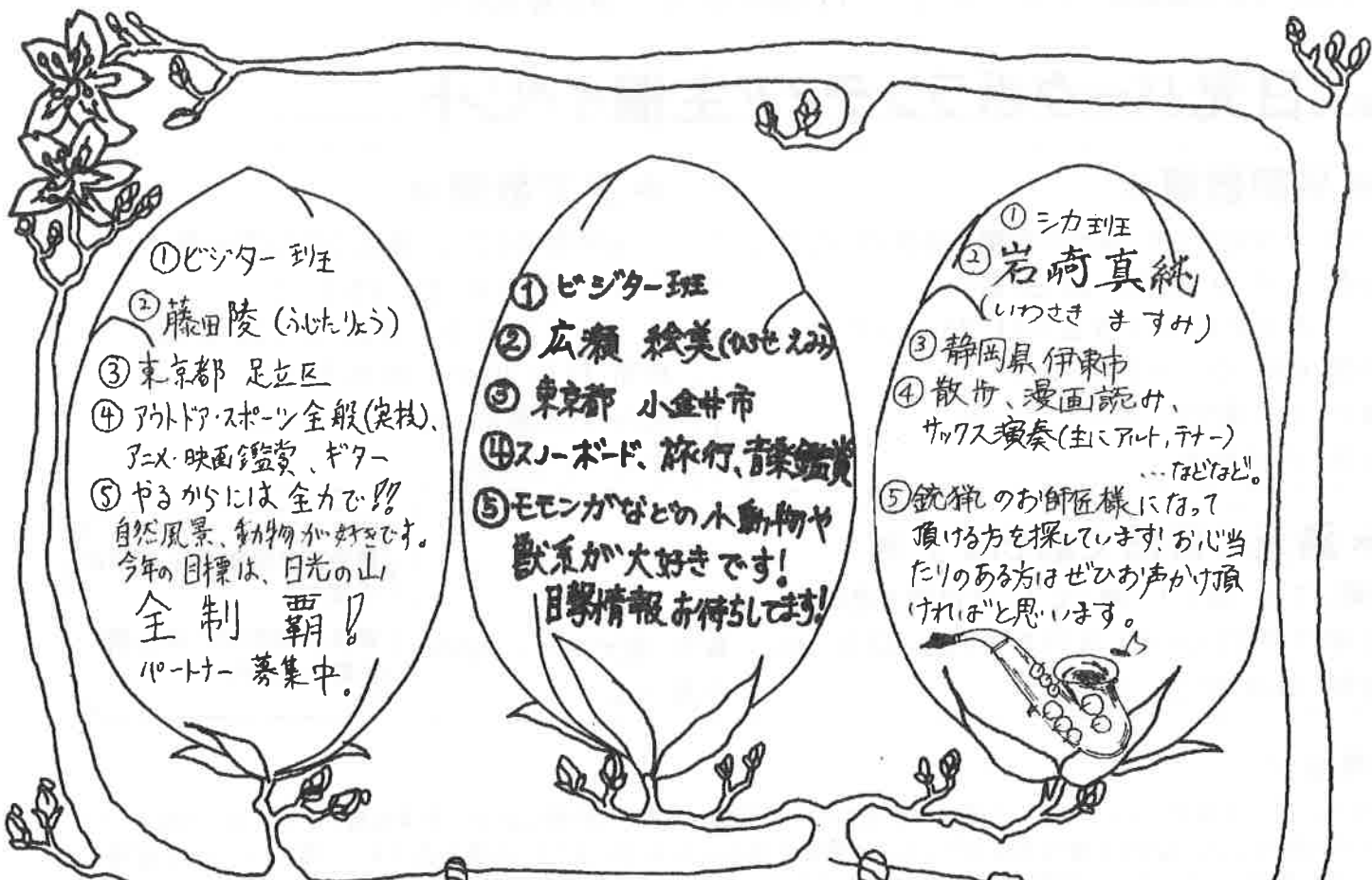
新主任挨拶

私という者です!

今年度より自然公園財団日光支部の主任の職に就きました、石井綾と申します。自然や文化、そして人との関わり... 奥日光はまだ私にとって不思議なことだらけ。日光に来て5年経っても、この土地で学びたい気持ちは変わりません。その気持ちを忘れず、これからも元気に頑張っていきますので、よろしくお願ひします! ビジターセンターにいらした際は、ぜひ気軽に声をかけて下さいませ!



5年で一歩進み



① ビジター 班

② 藤田 陵 (ふじた りょう)

③ 東京都 足立区

④ アウトドア・スポーツ全般(奥技)、アニメ・映画鑑賞、ギター

⑤ やるからには全力で!! 自然風景、動物が大好きです。

今年の目標は、日光の山

全制覇!

パートナー 募集中。

① ビジター 班

② 広瀬 絵美 (ひろせ えみ)

③ 東京都 小金井市

④ スノーボード、旅行、音楽鑑賞

⑤ モモンガなどの小動物や 獣系が大好きです!

目撃情報お待ちしてます!

① シカ班

② 岩崎 真純 (いわさき ますみ)

(いわさき ますみ)

③ 静岡県 伊東市

④ 散歩、漫画読み、サックス演奏(主にアート、テナー)

...などなど!

⑤ 銃猟のお師匠様になって頂ける方を探しています! お心当たりのある方はぜひお声かけ頂ければと思います。

新人紹介コーナー

- ① 所属班
- ② 名前
- ③ 出身地
- ④ 趣味
- ⑤ ひとこと

クマレクチャー

クマに会ったらどうする？

クマってどんな生き物なの？

クマの調査経験のあるスタッフが、みなさんの疑問にお答えします。

日時：8月15日(土) ①10:00～ ②13:30～ 各約1時間

場所：日光湯元ビジターセンター レクチャールーム

※①、②は同じ内容です。 [予約不要・参加費無料]



画像提供：環境省日光自然環境事務所 2014.7.18 戦場ヶ原

ビジターセンター主催イベント 6-8月

- きのこの湖畔 探検隊 6月20日(土) 10:00～15:00 参加費 500円
- 初夏の湯元で森林浴 6月27日(土) 13:00～15:00 参加費 500円
- 地図読み散策 7月26日(日) 9:00～16:00 参加費 500円
- 水辺の生き物観察会 8月1日(土) 13:00～15:30 参加費 500円

気になるイベントは、巻込みチラシで詳細をチェック!

NPV 日光パークボランティア主催イベント

* 早朝散策 *

「ちょっと早起きして、爽やかな空気を吸いに行こう」

日程：7月19日(日)、26日(日)

8月2日(日)、9日(日)、23日(日)

時間：6時30分～7時30分

集合：日光湯元ビジターセンター前

定員：15名程度

* 夕方散策 *

「一日の締めくりに、湯元でのんびりお散歩」

日程：7月18日(土)、25日(土)

8月1日(土)、8日(土)、22日(土)

時間：15時30分～16時30分

集合：日光湯元ビジターセンター前

定員：15名程度

* 湯元の自然であそぼ！ *

「聞いて！ 見て！ 触って！ 大自然で遊ぼう」

日程：7月25日(土) 8月8日(土)、22日(土) 集合：湯元キャンプ場内

時間：13時30分～15時 定員：なし

■全て参加費無料、ご予約不要です。

■集合場所には10分前にお集まりください。

編集後記

奥日光に来て2年目。人との繋がりや環境の変化の中、両生類との関わりが増えました。記事を書いている今この時も、カエルたちの動向が気になります◆今年カエルも花も季節の進みが大分早いようで、時季を逃すまいと忙しい日々。お客様からも、ツツジ類やズミなど沢山の問合せをいただきます◆初めての「昨年との比較」を楽しみつつ、全く新しい様々な出来事も。カエル…はさておき、業務内容も心機一転。本誌も少しずつ装いを改めながら、今年度も奥日光の魅力をお届けします(まる)

楓通信 No.117

日光湯元ビジターセンター発
-奥日光の自然情報誌-

2015年6月1日発行

次号 8月初旬 発行予定

隔月発行 一部100円

年間購読料 1000円(送料込)

年間購読のお申込み

氏名・住所・電話番号を明記の上、郵便振替にて自然公園財団宛に購読料をお支払いください。年途中からでもどうぞ!

ゆうちょ銀行 振替 No. 00370-3-7232

一般財団法人自然公園財団日光支部

〒321-1662 栃木県日光市湯元 日光湯元ビジターセンター

TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

探検隊シリーズ シーズン3突入!!!

きのこの湖畔 探検隊

第3弾

苔むす森の住人

に会いに行く。

奥日光の森には、
不思議なきのこが暮ら
しています。

今回の探検隊では、
中禅寺湖にて、
まったりと、きのこ観察
を楽しみます。

注意! このイベントは、登山を楽しみながらきのこの魅力を
楽しむものです。採集を目的とした“きのこ狩り”ではありません。

日 時：平成27年6月20日(土) 10:00~15:00 (受付9:30~)

集合場所：歌ヶ浜駐車場

コース：歌ヶ浜~阿世湯の往復

参加費：おひとり 500円(小中学生は要保護者同伴)

定 員：20名(先着順)

※持ち物・服装などに関しては、申込みされた方に別途要項ハガキにてお知らせ致します。

お問合せ・お申込み先：環境省 日光湯元ビジターセンター Tel. 0288-62-2321

(管理者：一般財団法人自然公園財団 日光支部 担当：緒方光明) FAX. 0288-62-2378

お申込み時に、電話またはFAXにて次の事項をお知らせ下さい。

- ①イベント名
- ②氏名
- ③年齢
- ④性別
- ⑤住所
- ⑥電話番号(当日連絡のつくもの)
- ⑦集合場所までの交通手段
- ⑧このイベントを知った情報源
- ⑨前後泊の有無

森林セラピーガイドと歩く 初夏の湯元で森林浴

日時:平成27年6月27日(土)

13:00~15:00(12:30受付開始)

集合場所:日光湯元ビジターセンター

散策場所:湯元内

定員:15名 参加費:¥500

自然のもたらす人体に良い様々な効果を、森林セラピーの知識を基盤にご紹介。様々なアウトドアレジャーに、+αの活動を入れるだけで、簡単に健康維持効果が期待できちゃうんです。短時間のレクチャーの後、実際に森へでかけて体験していただきます。



こんな人にオススメ!

- ・公園や森のお散歩が日課の人
- ・自然が好き!でも、なんで?と思う人
- ・山に登るとキモチイイ!と感じる人

自然に興味はないけどなんだか気になる・・・
そんな人も大歓迎!

お問合せ・お申込み先

環境省 日光湯元ビジターセンター

管理者:一般財団法人自然公園財団 日光支部(担当:柴田 三四郎)

TEL:0288-62-2321 FAX:0288-62-2378

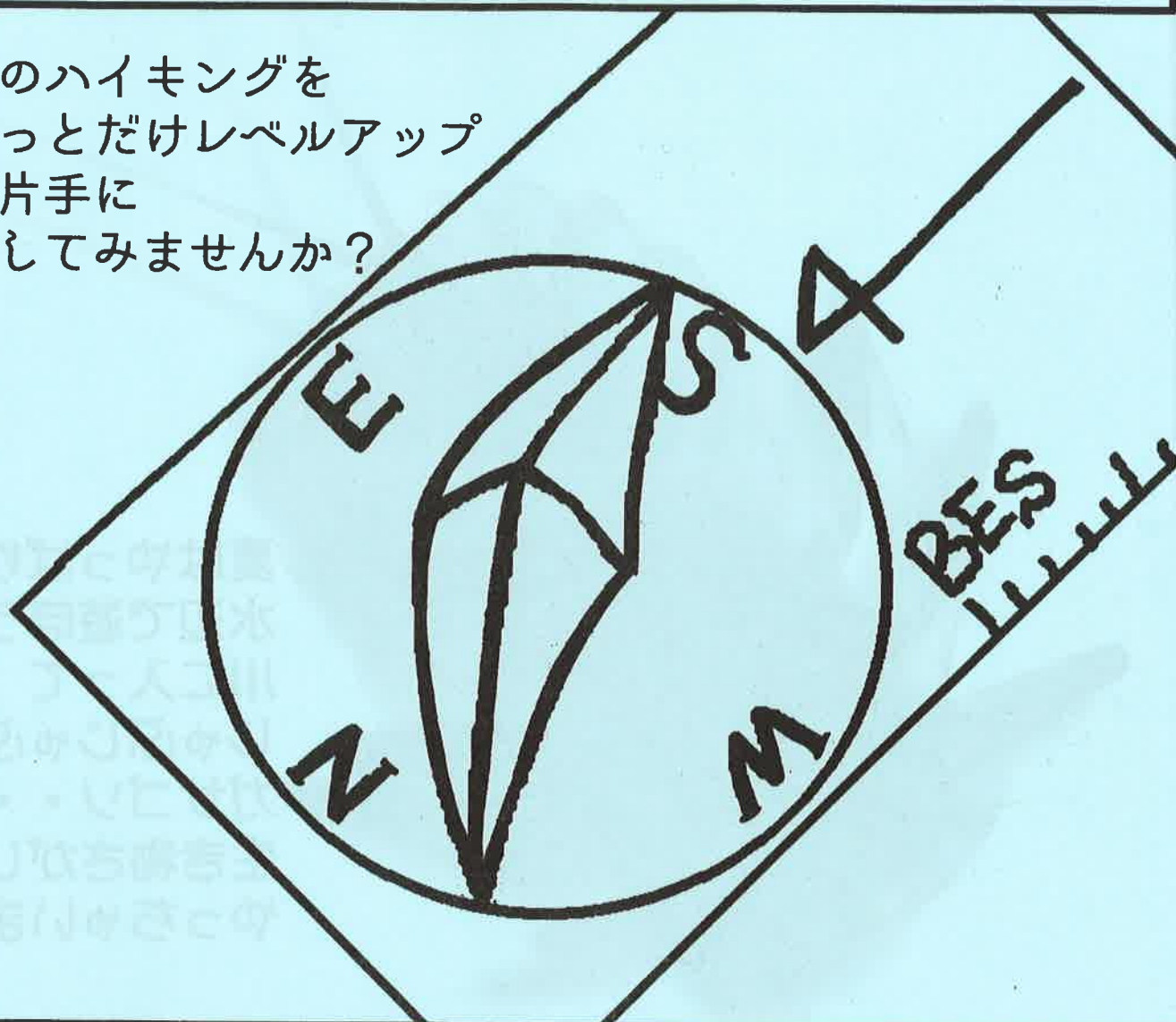
電話・FAXにて次の事項を上記までお知らせください。

- ①イベント名
- ②氏名
- ③年齢
- ④性別
- ⑤住所
- ⑥電話番号(当日連絡のつくもの)
- ⑦集合先までの交通手段
- ⑧この催しの情報源
- ⑨前・後泊の有無

地図読み散策

@奥日光・湯元

いつものハイキングを
ちょっとだけレベルアップ
地図を片手に
散策してみませんか？



日 時：平成27年7月26日(日) 9:00~16:00 (受付8:30~)

集合場所：日光湯元ビジターセンター

コース：当日までのお楽しみ

参加費：500円(小中学生は要保護者同伴)

定 員：10名(先着順)

※持ち物・服装などに関しては、申込みされた方に別途要項ハガキにてお知らせ致します。

お問合せ・お申込み先：環境省 日光湯元ビジターセンター Tel. 0288-62-2321

(管理者：一般財団法人自然公園財団 日光支部 担当：緒方光明) FAX. 0288-62-2378

お申込み時に、電話またはFAXにて次の事項をお知らせ下さい。

①イベント名 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤住所 ⑥電話番号(当日連絡のつくもの)

⑦集合場所までの交通手段 ⑧このイベントを知った情報源 ⑨前後泊の有無

今年もやります！

水辺の生き物

観察会 in 湯元温泉



夏はやっぱり
水辺で遊ぼう！
川に入って
じゃぶじゃぶ
ガサゴソ・・・。
生き物さがし
やっちゃいます。

日 時：平成27年8月1日(土) 13:00～15:30 (受付12:30～)

集合場所：日光湯元ビジターセンター

参加費：500円(小中学生は要保護者同伴)

定 員：20名程度(先着順)

※持ち物・服装などに関しては、申込みされた方に別途要項ハガキにてお知らせ致します。

お問合せ・お申込み先：環境省 日光湯元ビジターセンター Tel. 0288-62-2321

(管理者：一般財団法人自然公園財団 日光支部 担当：緒方光明) FAX. 0288-62-2378

お申込み時に、電話またはFAXにて次の事項をお知らせ下さい。

- ①イベント名
- ②氏名
- ③年齢
- ④性別
- ⑤住所
- ⑥電話番号(当日連絡のつくもの)
- ⑦集合場所までの交通手段
- ⑧このイベントを知った情報源
- ⑨前後泊の有無